NY マーケットレポート（2016 年 2 月 2 日）

NY 市場では、原油先物価格や、欧米の株価が軒並み大幅下落となったことを受けて、投資家のリスク回避の動きが強まり、相対的に安全な通貨とされる円を買う動きが優勢となった。また、米長期金利が低下したことも円買い・ドル売りを後押しした。このことから、ドル円・クロス円は終盤まで軟調な動きが続いた。なお、NY 原油は、終値ベースで約 2 週間ぶりに 30 ドルを割り込んだ。

2016/2/2（火）

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	120.65	121.05	120.37
EUR/JPY	131.53	131.86	131.32
GBP/JPY	173.70	174.73	173.16
AUD/JPY	85.40	86.15	85.03
EUR/USD	1.0904	1.0920	1.0886

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	120.87	120.60
EUR/JPY	131.97	131.50
GBP/JPY	174.52	172.96
AUD/JPY	85.60	84.94
EUR/USD	1.0923	1.0898

＊LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17750.68	−114.55
ハンセン指数	19446.84	−148.66
上海総合	2749.57	+60.72
韓国総合指数	1906.60	−18.22
豪ASX200	4993.32	−50.27
インドSENSEX指数	24539.00	−285.83
シンガポールST指数	2579.23	−23.18

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	5922.01	−138.09
仏CAC40	4283.99	−108.34
独DAX	9581.04	−176.84
ST欧州600	334.59	−7.02
西IBEX35指数	8528.70	−259.80
伊FTSE MIB指数	17922.45	−563.50
南ア 全株指数	48029.24	−1026.30

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	120.05	120.81	119.85
EUR/JPY	131.05	131.88	130.90
GBP/JPY	173.00	174.07	172.77
AUD/JPY	84.64	85.31	84.45
NZD/JPY	78.01	78.43	77.64
EUR/USD	1.0917	1.0940	1.0892
AUD/USD	0.7052	0.7075	0.7040

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16153.54	−295.64
S&P500	1903.03	−36.35
NASDAQ	4516.95	−103.42
日経225（CME）	17470	−270
トロント総合	12442.26	−232.11
ボルサ指数	43092.49	−538.28
ボベスパ指数	38596.17	−1973.87

2/3 経済指標スケジュール

08:50 【日本】12月日銀金融政策決定会合・議事要旨
09:01 【英国】1月BRC店頭価格指数
09:30 【オーストラリア】12月貿易収支
09:30 【オーストラリア】12月住宅建設許可件数
10:45 【中国】1月財新メディア非製造業PMI
11:30 【香港】1月購買部景気指数
14:00 【日本】1月消費者態度指数
17:00 【トルコ】1月消費者物価指数
17:00 【トルコ】1月生産者物価指数
17:50 ～ 18:30
【フランス】【ドイツ】【欧州】【英国】1月非製造業PMI
19:00 【欧州】12月小売売上高
20:20 【ポーランド】政策金利発表（時間不確定）
21:00 【米国】MBA住宅ローン申請指数
22:15 【米国】1月ADP雇用統計
23:00 【メキシコ】12月景気先行指数
23:45 【米国】1月マークイット米国サービス業PMI
00:00 【米国】1月ISM非製造業景況指数

コモディティー	終値	前日比
NY GOLD	1127.20	−0.80
NY 原油	29.88	−1.74
CMEコーン	372.50	+1.25
CBOT 大豆	886.25	+5.50

米国債利回り	本　日	前　日
2年債	0.74%	0.80%
3年債	0.92%	1.00%
5年債	1.28%	1.37%
7年債	1.62%	1.71%
10年債	1.86%	1.95%
30年債	2.67%	2.76%

2/3 主要会議・講演・その他予定

・黒田日銀総裁 講演

（出所：SBILM）

NY 市場レポート

欧州タイム

≪企業決算≫

米ファイザー
第 4 四半期の調整後 1 株利益は 0.53 ドル（予想 0.52 ドル）

米ダウ・ケミカル
第 4 四半期の調整後 1 株利益は 0.93 ドル（予想 0.69 ドル）

米 UPS
第 4 四半期調整後 1 株利益は 1.57 ドル（予想 1.42 ドル）

22:00
ドル/円　120.78　ユーロ/円　131.78　ユーロ/ドル　1.0911

22:00
欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	5957.01	-103.09	ダウ 先物ミニ	16229	-111
仏 CAC40	4309.38	-82.95	S&P 500 ミニ	1917.00	-14.25
独 DAX	9635.92	-121.96	NASDAQ 100 ミニ	4257.50	-34.00

(出所：SBILM)

22：00
≪ 経済指標の結果 ≫

1 月シンガポール購買部景気指数　49.0（予想　49.7・前回　49.5）

1 月シンガポール電子産業指数　48.5（前回　48.9）

（出所：ブルームバーグ）

（出所：ブルームバーグ）

≪企業決算≫

米ファイザー
第 4 四半期の 1 株利益は 0.67 ドル（予想 0.64 ドル）

≪海外の話題≫

米大統領選で民主・共和両党の候補指名争いの初戦となる中西部アイオワ州党員集会が 1 日開かれ、共和党ではテッド・クルーズ上院議員が、優勢と伝えられていた不動産王ドナルド・トランプ氏を破った。クルーズ氏が 28%の支持を集め、トランプ氏は 24%、マルコ・ルビオ上院議員は 23%となった。マイク・ハッカビー元アーカンソー州知事は、選挙戦からの撤退を表明した。民主党では、ヒラリー・クリントン前国務長官が大接戦の末、バーニー・サンダース上院議員に勝利した。アイオワ州党員集会において、両者の得票数の差はこれまでで最も小さかった。95%の地区の集計が終了した時点で、クリントン氏とサンダース氏は、それぞれ 50%程度を獲得していた。3 位に終わったマーティン･オマリー前メリーランド州知事は､得票率が 1%に届かず､選挙戦から撤退する意向を示した。

23：33
米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16251.88	-197.30
ナスダック	4587.46	-32.90

（出所：SBILM）

23：45
≪ 経済指標の結果 ≫

1 月 ISM ニューヨーク　54.6（前回　62.0）

（出所：ブルームバーグ）

0：00
≪ 経済指標の結果 ≫

2 月米 IBD/TIPP 景気楽観指数　47.8（予想　47.6・前回　47.3）

指標結果データ
≪IBD/TIPP 景気楽観指数≫

	2 月・・1 月・・12 月・・11 月・・10 月・・9 月
景気楽観指数・・・・	47.8・・47.3・・47.2・・45.5・・47.3・・42.0
半年先の景気先行・・	42.5・・42.9・・41.8・・41.5・・43.5・・36.7
資金繰り見通し・・・	58.0・・58.2・・59.6・・56.5・・56.8・・53.0
政府の政策信頼度・・	42.8・・40.7・・40.1・・38.4・・41.5・・36.2

0：35
≪ NY 株式市場　序盤≫

序盤の株式市場は、アジアと欧州の主要株価が軒並み値下がりしたことや、原油相場も軟調な動きとなったことから、投資家心理が悪化して売りが優勢となった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で 271 ドル安まで下落する動きとなっている。

≪ 経済指標のポイント ≫

2 月の IBD/TIPP 経済楽観指数は、市場予想の 47.6 を上回る 47.8 となり、前月から 0.5 ポイント上昇し、昨年 7 月以来 7 ヵ月ぶりの高水準となった。ただ、節目の 50 は 10 ヵ月連続で下回った。構成指数では、半年先の景気先行は 42.5（前月 42.9）、資金繰り見通しは 58.0（58.2）と低下したものの、政府の政策信頼度は 42.8（40.7）に上昇した。IBD/TIPP 指数は、ミシガン大学やコンファレンスボード（全米産業審議会）の消費者信頼感指数の先行指標として注目される。50 を上回ると楽観的と判断する。

≪海外の話題≫

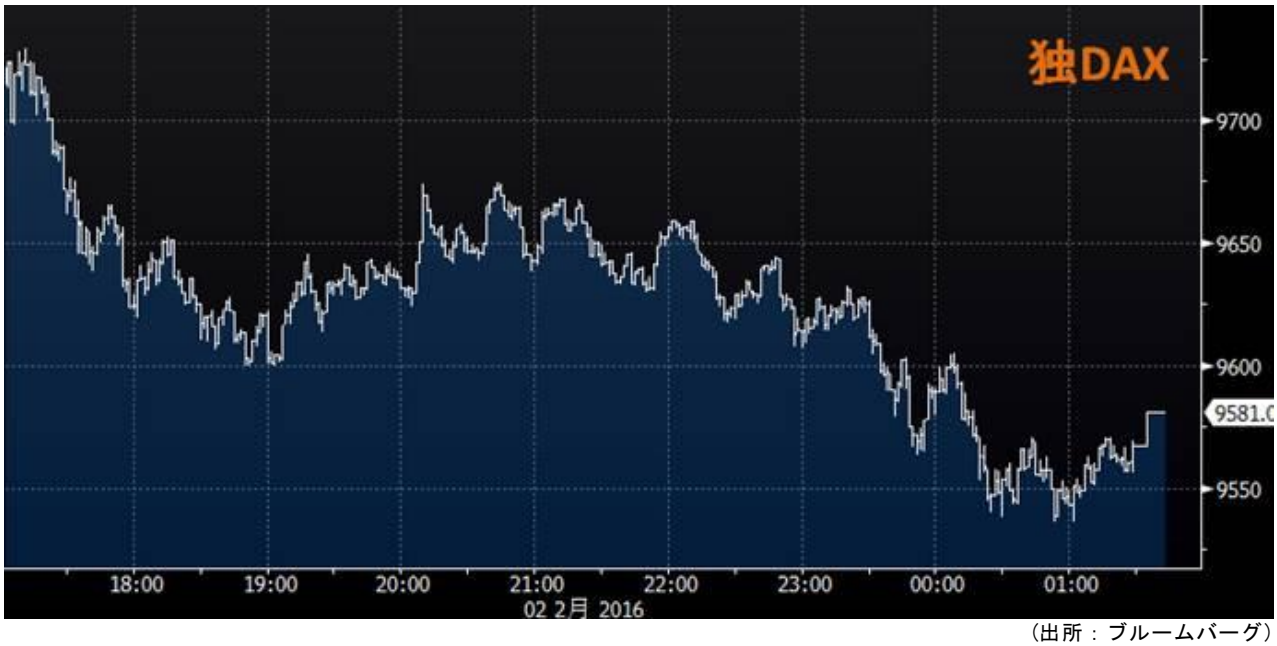
ターンブル・オーストラリア首相は、連邦議会での審議行き詰まりを解決するため、両院を解散し総選挙を前倒しで実施する意向を示したと政府高官が明らかにした。与党自由党の非公式会議での発言とのこと。ターンブル首相は、任期は最後まで務めるとしたものの、「両院解散」と呼ばれる選挙の実施については否定しなかった模様。政府高官によると、首相は「両院解散について、適用できる選択肢であり評価・判断するべきだと述べた」という。さらに「総選挙の時期については 8-10 月に行うのが普通だが、確定されたものではないとも述べた」ことも明らかにした。首相の広報担当者は、選挙のタイミングに関する観測にはコメントしないと述べた。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	5922.01	-138.09
仏 CAC40	4283.99	-108.34
独 DAX	9581.04	-176.84
ストック欧州 600 指数	334.59	-7.02
ユーロファースト 300 指数	1317.26	-27.49
スペイン IBEX35 指数	8528.70	-259.80
イタリア FTSE MIB 指数	17922.45	-563.50
南ア アフリカ全株指数	48029.24	-1026.30

(出所：SBILM)

≪欧州株式市場≫

欧州株式市場は、原油安が世界経済に及ぼす悪影響に対する懸念が広がり、主要株価は売りが先行した。また、赤字決算を計上した石油の BP の株価が大幅下落したことも投資家心理を冷やし、大幅続落となった。



（出所：ブルームバーグ）

2：00
米主要株価・中盤
ダウ　16189.42（-259.76）、S&P500　1913.22（-26.16）　ナスダック　4549.01（-71.36）

≪ NY 債券市場　・午前≫

序盤のニューヨーク債券市場は、原油先物の値下がりを背景とした投資家のリスク回避の動きで安全資産とされる米国債に資金が流入した。また、原油安の影響で低インフレが続くとして、米 FRB が 3 月の追加利上げを見送るとの観測が広がっていることも支援材料となった。

午前の利回りは、30 年債が 2.69%（前日 2.76%）、10 年債が 1.88%（1.95%）、7 年債が 1.63%（1.71%）、5 年債が 1.30%（1.37%）、3 年債が 0.94%（1.00%）、2 年債が 0.76%（0.80%）。

≪欧州のポイント≫

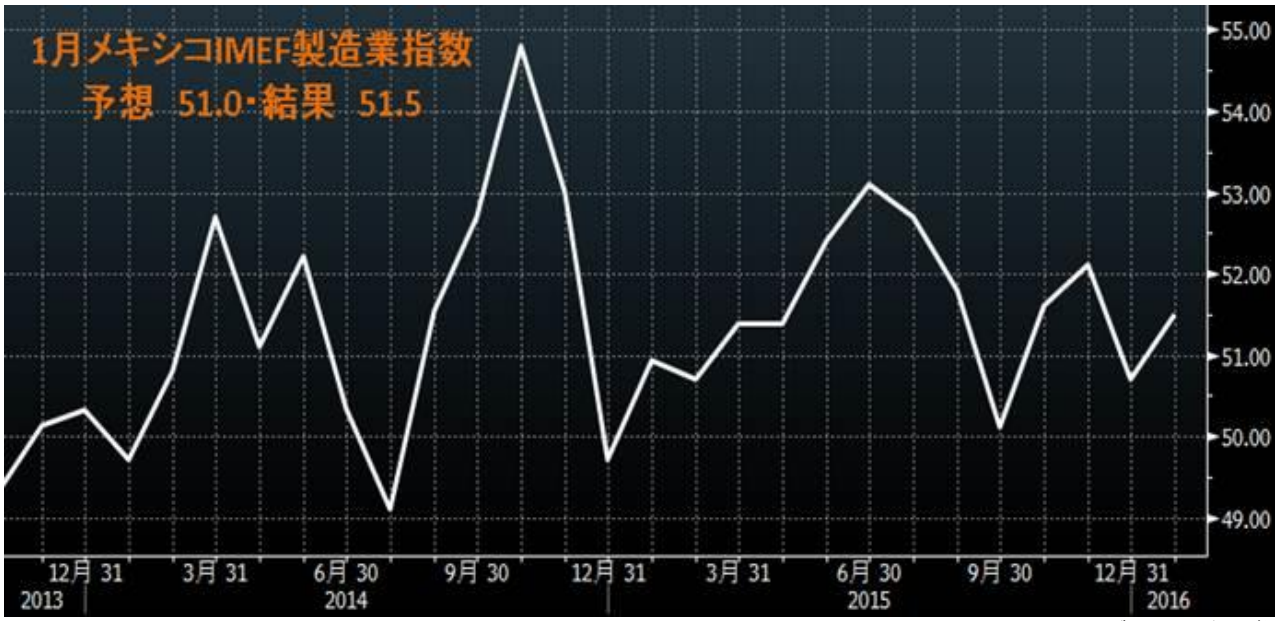
①ジョルダンスイス中銀総裁は、講演でスイスフランはユーロに対して依然として「かなり過大評価されている」と述べ、必要に応じて為替介入を行う用意があるとの見解を明らかにした。総裁はスイス中銀がマイナス金利を採用していることや、為替介入への意欲を示していることに加え、買われ過ぎとなっていたことなどにより、過去数週間でフランが下落したと分析した。最近スイス中銀が介入を行ったかは明らかにしなかった。

②ユーロ圏 19 ヵ国の昨年 12 月の失業率は、市場予想の 10.5%を下回る 10.4%となり、前月より 0.1 ポイント改善し、2011 年 9 月以来 4 年 3 ヵ月ぶりの低い水準となった。緩やかな景気回復で雇用情勢の改善が続いているが、失業率が依然として高水準の加盟国も多い。また、EU28 ヵ国の 12 月の失業率は　9.0%（前月 9.0%）となった。主要国ではドイツが圏内最低の 4.5%（前回 4.5%）、フランスが 10.2%（10.2%）、イタリアが 11.4%（11.4%）、スペインが 20.8%（21.0%）、オランダが 6.6%（6.7%）、ポルトガルが 11.8%（12.2%）、スウェーデンが 7.1%（7.1%）となった。一方、財政危機に陥っているギリシャは、昨年 10 月時点で 24.5%となり、前月より 0.1 ポイント改善したが、圏内で最悪の状態が続いている。

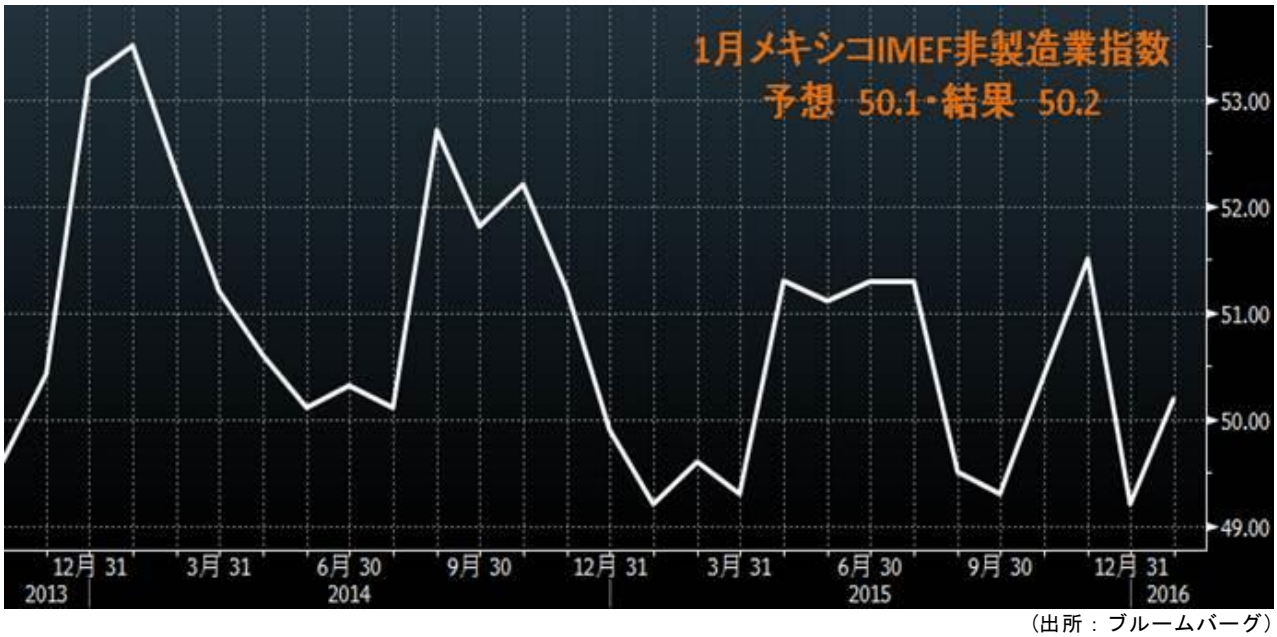
3：00
≪ 経済指標の結果 ≫

1 月メキシコ IMEF 製造業指数　51.5（予想　51.0・前回　50.9）
前回発表の 50.7 から 50.9 に修正

1月メキシコ IMEF 非製造業指数　50.2（予想　50.1・前回　49.3）
前回発表の 49.2 から 49.3 に修正



（出所：ブルームバーグ）



（出所：ブルームバーグ）

1月米自動車販売

フィアット・クライスラーは+6.9%（予想-0.1%）
フォードは-2.8%（予想-3.2%）
ＧＭは+0.5%（予想-0.9%）

トヨタは-4.7%（予想-4.8%）
日産は+1.6%（予想-1.7%）
ホンダは-1.7%（予想-3.2%）

3：10
≪　要人発言　≫
ジョージ・カンザスシティ連銀総裁

・「FOMC は、緩やかな利上げ継続すべきだ」
・「米ファンダメンタルズは、成長持続に十分な強さ」
・「最近の市場変動は、必ずしも懸念せず」
・「米経済は、追加利上げが正当な好位置」

4：50
NY 金は、中心限月が前日比 0.80 ドル安の 1 オンス＝1127.20 ドルで取引を終了した。

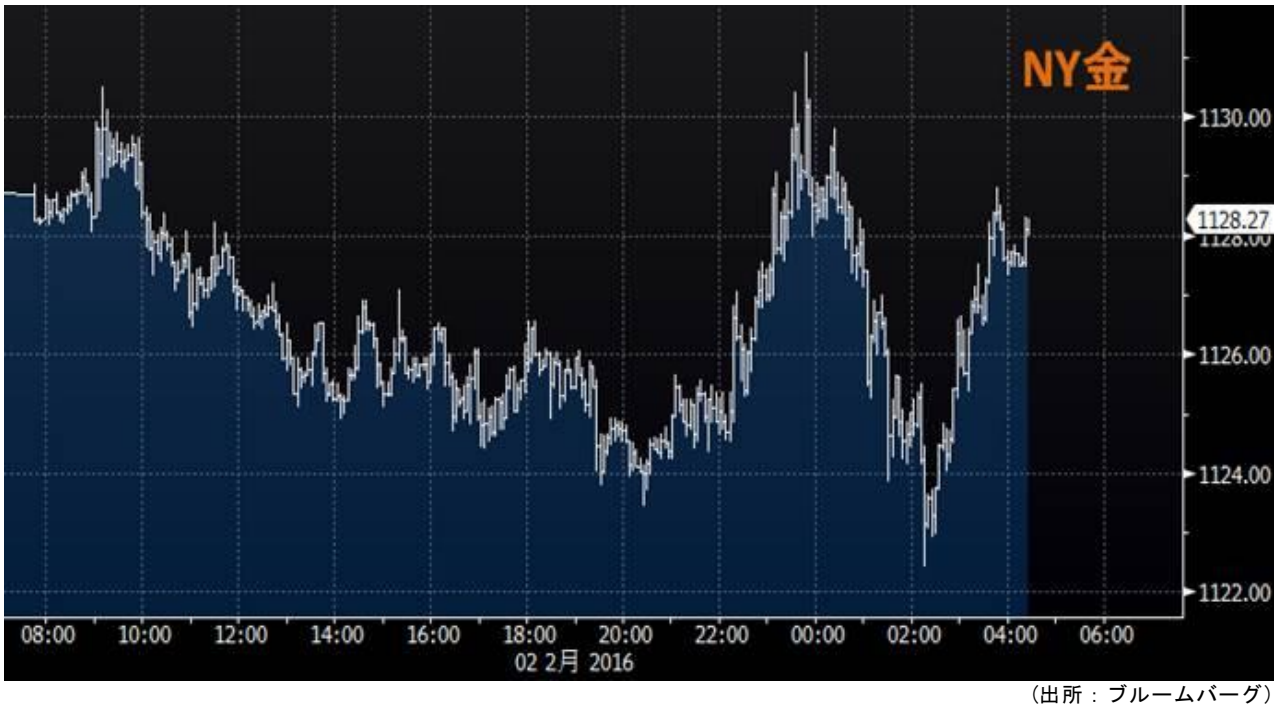
5：15
NY 原油は、中心限月が前日比 1.74 ドル安の 1 バレル＝29.88 ドルで取引を終了した。

主要商品	終　値	前日比
NY GOLD	1127.20	-0.80
NY　原油	29.88	-1.74

（出所：SBILM）

≪ NY 金市場 ≫

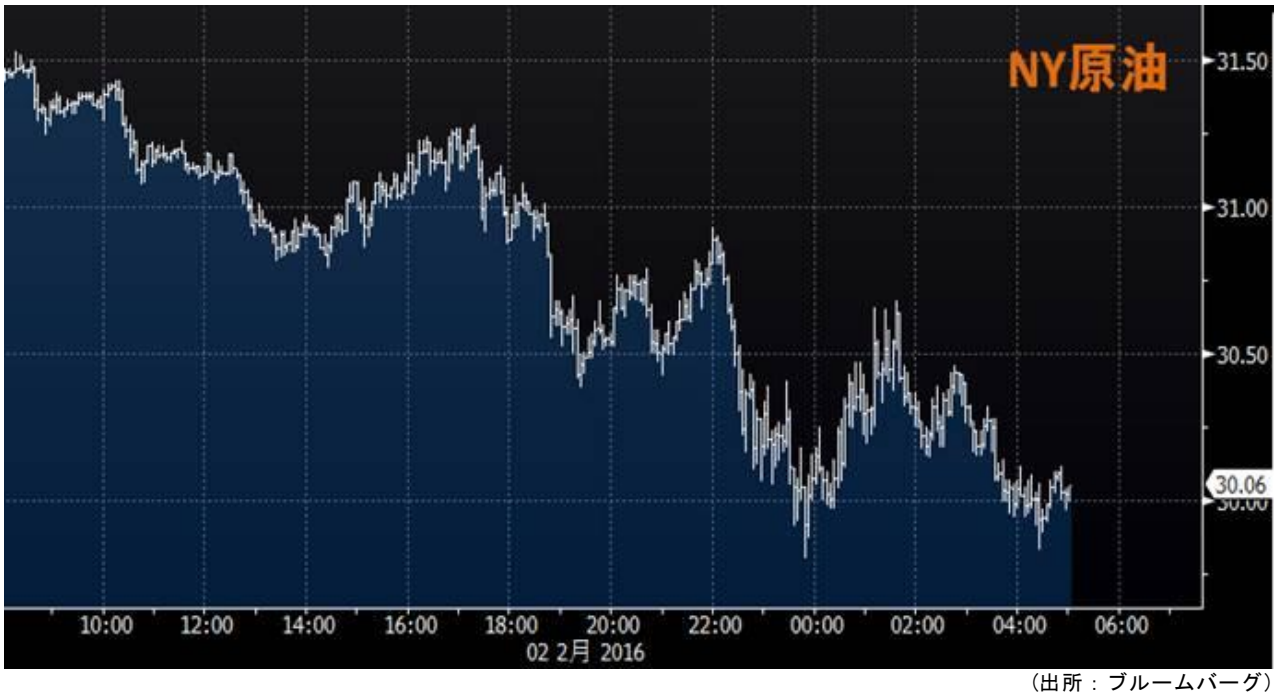
ＮＹ金は、原油先物や欧米株の下落を背景に比較的安全な資産とされる金を逃避的に買う動きが先行したが、その後は利益確定売りに押され、マイナスで引けた。



（出所：ブルームバーグ）

≪ NY 原油市場 ≫

ＮＹ原油は、OPEC（石油輸出国機構）がロシアと協調して減産する可能性は低く、今後も供給過剰の状態が続くとの見方から売りが優勢となった。



（出所：ブルームバーグ）

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16153.54	-295.64	16108.44	16449.18
S&P500 種	1903.03	-36.35	1935.26	1897.29
ナスダック	4516.95	-103.42	4589.90	4503.12

(出所:SBILM)

≪米株式市場≫

アジアと欧州の主要株価が軒並み下落したことや、原油価格も軟調な動きとなったことから、投資家心理が悪化して、序盤から売りが優勢となった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きが続き、終盤には一時前日比で 340 ドル安まで下落する動きとなった。

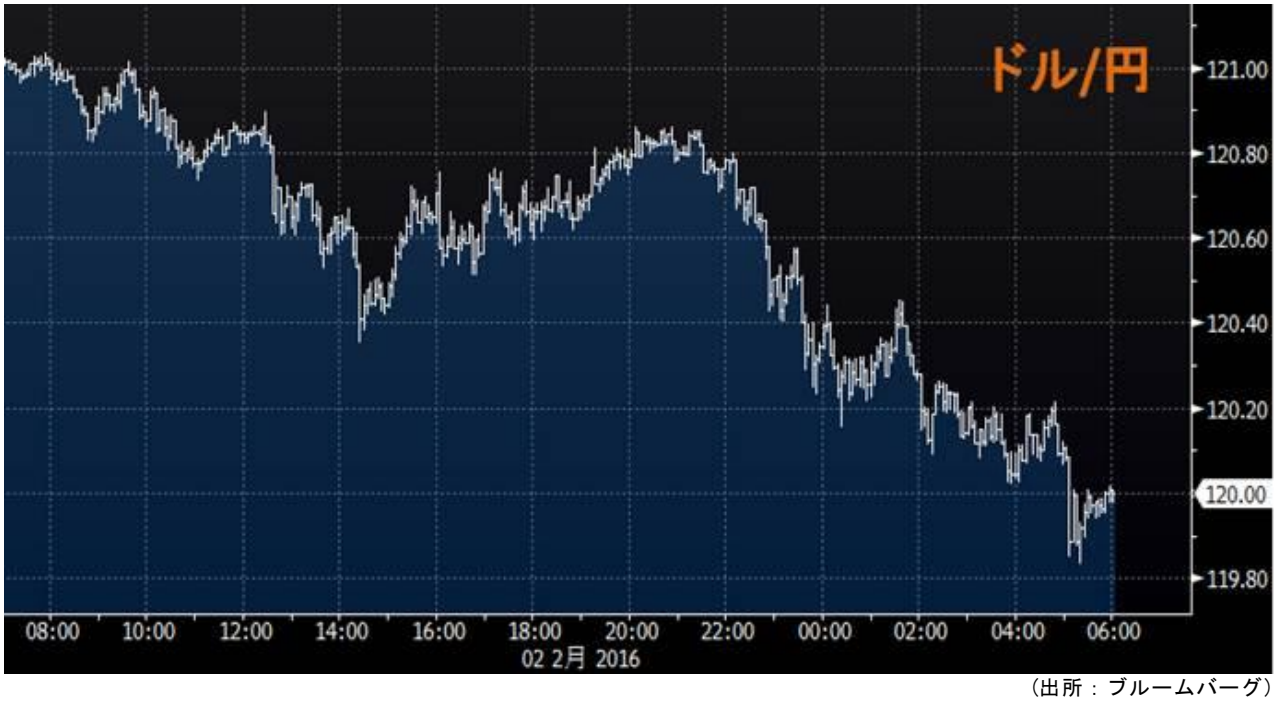
（出所：ブルームバーグ）

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	120.05	120.81	119.85
EUR/JPY	131.05	131.88	130.90
GBP/JPY	173.00	174.07	172.77
AUD/JPY	84.64	85.31	84.45
NZD/JPY	78.01	78.43	77.64
EUR/USD	1.0917	1.0940	1.0892
AUD/USD	0.7052	0.7075	0.7040

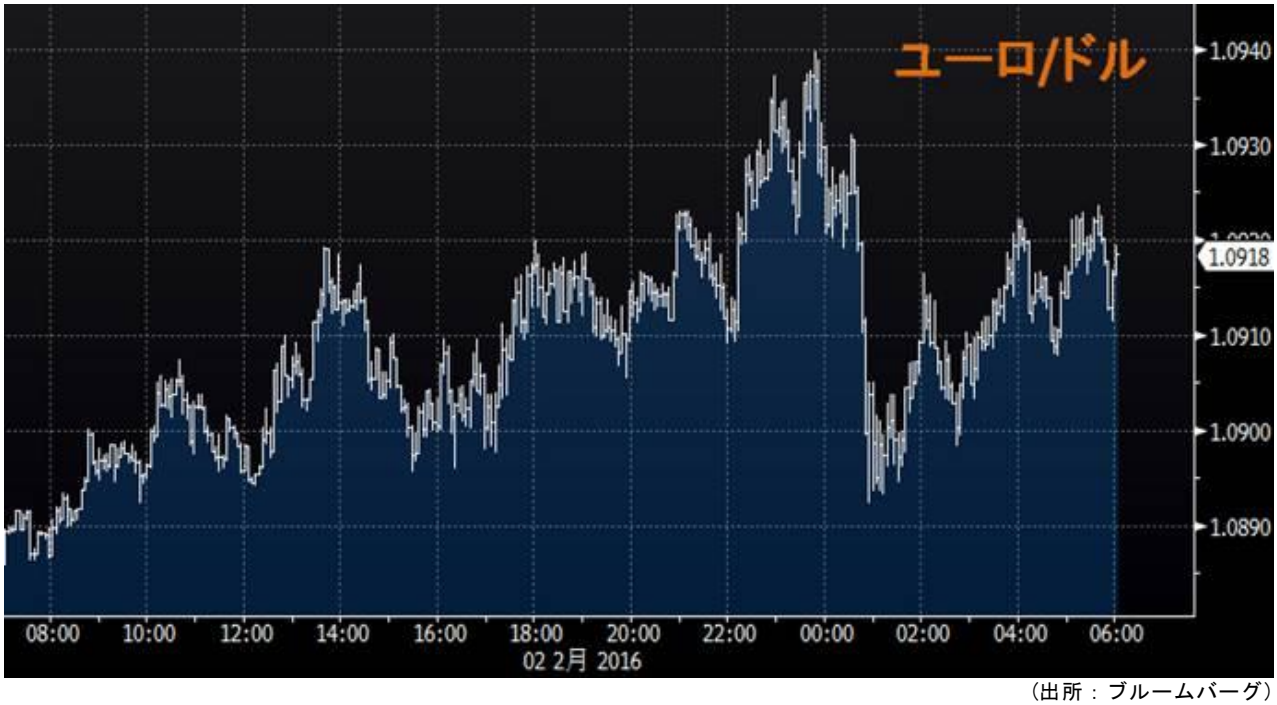
（出所：SBILM）

≪外国為替市場≫

外国為替市場は、原油価格や欧米の株価が大きく下落したことから、投資家のリスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は終盤まで軟調な動きが続いた。



（出所：ブルームバーグ）



（出所：ブルームバーグ）

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社
お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、 複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。